

Web

第19号

Fairy paradise

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第18回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第 155 回出題
- ・ Fairy of the Forest #22
- ・ 果報は寝て待て

結果発表

- ・ 第17回WFPフェアリー作品展
- ・ OFM 第 154 回出題
- ・ 第7回詰四会フェアリー作品展
- ・ 第5回詰将棋課題コンクールをばか詰で
- ・

読み物

- ・ フェアリー版迷宮の果てに記録更新！
- ・ 2010年フェアリー年賀詰作品紹介
- ・ 妖精賞の系譜（7）
- ・ x4ccはいかに改装されたか？最終回

2010/1

はじめに



あけましておめでとうございます。とは言ってももう20日過ぎてますが、今年初のWFPということでお許し下さい。

さて年が明けるといろいろ目標などを立てるものですが、皆さんは新しい目標を立てられましたか？私の目標の1番目はもちろん、

WFPの間違いを減らす！

なにやら情け無い話ですが、毎号皆さんにご迷惑をお掛けしている訳ですので、今年は少しでも間違いを減らして行きたいと思います。ネットで見られている方はすぐに訂正でき対応できるのですが、郵送の方（現在市村氏だけです）の場合は、電話か訂正を郵便で送らなければいけませんのでかなりの手間がかかります。まあ自業自得ではありますが、手間は減らさないといいません。

あと個人的な目標とすれば、

- ・ 詰パラ順位戦の普通詰将棋を創る（残留とか昇級ではない・・・）
- ・ 詰パラ・WFPの全てのフェアリー作品への解答（全解）
- ・ 将、カピタンのPDF化
- ・ 森茂作品集発刊への前進
- ・ 詰パラフェアリーランドへの投稿→密かに妖精賞を狙う

と言った所でしょうか。まあ後半は希望に近いような気がしますが・・・今年もよろしくをお願いします。

【募集】

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第19号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん：takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々のHPアドレス

* ご協力感謝します

妖精都市

<http://www.geocities.jp/cavesfairy/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://www.abz.jp/~k7ro/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

イラスト・素材提供：幻想素材サイトFirst Moon

<http://www.first-moon.com/>

* 表紙のイラストを使用させて頂いております。

[作品投稿要項]

- 1) 作品投稿は随時受け付けています
- 2) ルールは不問です。フェアリー系ルールならばかしこでも可です(安南詰 etc)
- 3) FM 等で検討済みの場合はその旨を付記して下さい
- 4) FM 等で検討出来ない場合は検討の手伝いをします

[解答要項]

解答締切：平成22年 2 月 15 日

本作品展は、正式発表とし TOP IXの対象となります。また解答のコメントは結果発表にて掲載いたしますのでご了承下さい

作品投稿及び解答は

webfairyparadise_you@yahoo.co.jp

をお願いします

余詰・近況報告は

<http://circe-pro.cocolog-nifty.com/blog/>

で行っています。確認の上、解答下さい

ルール説明

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方玉を詰ます

【 PWC 】

1. 取られた駒は（2.の例外を除き）取った駒が元あった場所に復元する
2. 二歩及び行き所の無い駒の禁に触れる場合は、復元せずに持駒になる
3. 成駒は成ったままで復元する
4. 成れる位置に復元した場合でも、成不成の選択は行えない

【強欲】

攻方、受方とも、駒取りの手があるときは、駒を取らない手を禁手とする。駒取りの手がなければ、駒を取らない手は有効

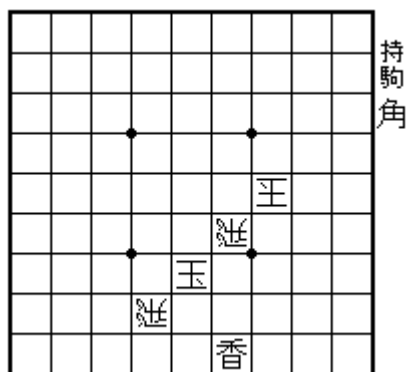
【前節】

今回は簡単で短いのを 4 題程。偶にはこういう機会があってもよいでしょう。中休みという事で……

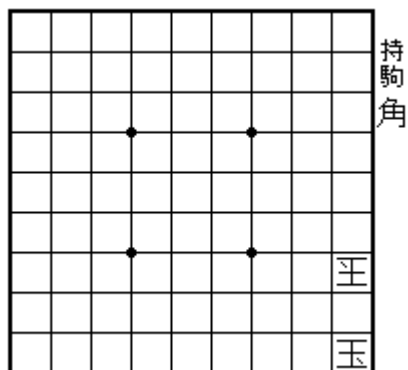
本当は推理将棋の長編趣向作を用意したかったんですが某所で未だに作意解答者が出ないので完全かどうか分ならず。今年中には披露したい所です（そんな部門もあったなあ、と最近思いだした。投稿ないですけど）

【妖精】

第 1 番 雲海氏作協力自玉詰 8 手

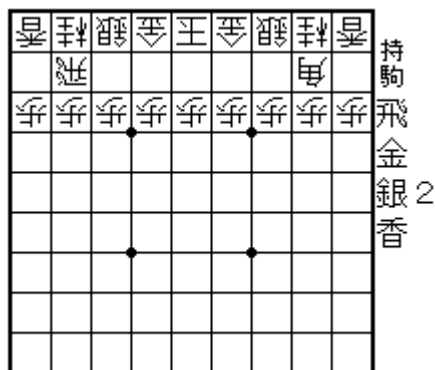


第 2 番 たくぼん氏作 PWC 協力自玉詰 8 手



b) 後手17玉→27玉

第 3 番 たくぼん氏作強欲協力詰 13 手



開催日 : 2010 年 1 月 17 日 (日)
 解答締切 : 2010 年 2 月 6 日 (土)
 解答発表 : 2010 年 2 月 7 日 (日)

神無七郎 作

協力詰 307 手

フェアリー駒=(11|-11|01|-10):虎

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	飛	一
飛	馬	馬	馬	馬	馬	馬	飛	飛	二
飛	馬	飛	飛	飛	飛	香	馬	飛	三
飛	馬	香	香	香	香	香	馬	飛	四
飛	馬	香				香	馬	飛	五
香	虎	香				香	馬	飛	六
香	虎	香				香	虎	虎	七
香	虎	香				香	虎	虎	八
王		飛				虎		虎	九

攻方持駒 虎154

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

虎 (盲虎)

中将棋の盲虎。前方を除く周囲 1 マスに動ける。なお、中将棋本来の盲虎とは異なり、この盲虎は成らない。

本作の E-mail で管理人宛

(janacek789@ybb.ne.jp) に送ってください。

※ 本作に限っては手順を省略して詰上り図だけの解答でも結構です。

【コメント】

皆様、遅まきながら明けましておめでとうございます。

いつも年頭の出題では「今年の目標」を掲げてきましたが、今年の目標設定はとても簡単でした。昨年の目標が全然達成できていないので、それをそのまま今年に持ち越すことにします。(ダメじゃん…)

この目標の内 Silverlight 版の

TsumeMLViewer の方は、ある程度まで出来上がっていてこのサイトでも実際に使っていましたが、「この機能も入れたいなあ」と思っているうちに、思っているだけで終わってしまいました。今年はキリの良い所で仕上げて早々に公開するようにしたいと思います。

また、本サイトでのトップページの出題は今年も継続していく予定です。昨年の解答成績はたくぼんさんが 3 年連続で堂々のトップ。ただ、2 位の雲海さんが 1 ポイント差まで肉薄しており、今年はどんな展開になるか注目です。

さて、今回の出題は寅年にちなんで「虎」を使った詰将棋です。この「虎」は中将棋の「盲虎」で、前方にだけ進めないという特徴を持っています。いくつか試作してみましたが、真っ直ぐ前に動けないせいか、強いのか弱いのか分からない不思議な駒ですね。本来中将棋の「盲虎」は成ると「飛鹿」になるのですが、ここでは成らない設定で解いてください。中将棋の駒をフェアリーに導入する場合、成に関する設定は悩みの種 (成駒と生駒で同じ駒があるのが特に面倒) なのですが、ルール上の問題を避ける手段として、本サイトでは当面 (中将棋を含む) 古将棋の成駒と生駒は完全に別の駒として扱うようにしていきたいと思います。

なお、本作は例によって非標準駒数作品です。受方の持駒を明示していませんが、合駒などはまったく出てこないのに気にしないで解いてください。

また、「(11|-11|01|-10): 虎、って何?」と思う方もいらっしゃると思いますが、これも気にしないでください。フェアリー駒用の f m

(f m 拡張セットの中に含まれます) で「虎」を扱うとき「/EFP=(11|-11|01|-10): 虎」と指定するのです。フェアリー駒用 f m は「盲虎」に限らず、様々な古将棋駒を扱えるので使うと結構病みつきになりますよ。

(担当: 神無七郎)

Fairy of the Forest#22出題

- 2009 年 11 月 18 日：課題発表：受方の同一地点の捨駒を複数回含む作品（協力詰）
- 2010 年 01 月 15 日：投稿締切
- 2010 年 01 月 18 日：出題
- 2010 年 02 月 15 日：解答締切
- 2010 年 02 月 18 日：結果発表

■ 課題発表

次回冬の課題募集に対して具体的提案があったのは、たくぼん氏のみ。ただし、考える所があったので、たくぼん氏案はいったん採用保留としました。

標記のような変な(?) 課題とします。「受方」というのがミソです。また、「同一地点」にもご注意を。なお「複数回」としましたが、捨駒回数は多ければ多いほど望ましいです。

■ 出題

「詰将棋おもちゃ箱」の掲示板にて『同一地点の捨駒』コンクールを企画した際、これは攻方だけではなく受方でもできるのではないかと思ったのが、今回の課題設定につながっています。というのは、普通詰将棋では複数回実現はかなり難しそうですが、協力詰なら比較的簡単に実現できそうに思えたからです。

しかし、捨駒を取って使わなければならないため、必然的に手数は長くなることが予想されました。実際、今回集まった作品はすべて長編でした。3題と少ないですが、1題ごとのボリュームは大きいので、ぜひ取り組んでいただきたいと思います。

解答締切は2月15日(月)です。下記宛メールにてお願いします。

酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

(追記)

と、一旦は書いたのですが、上文を書いた後、たくぼんさんから苦心作が送られてきました。これは私から短篇を無理に依頼したものです。「受先」かつ「受方持駒制限」ということで、苦心の跡がありありますが、経緯からこれを採らないわけにはいきません。

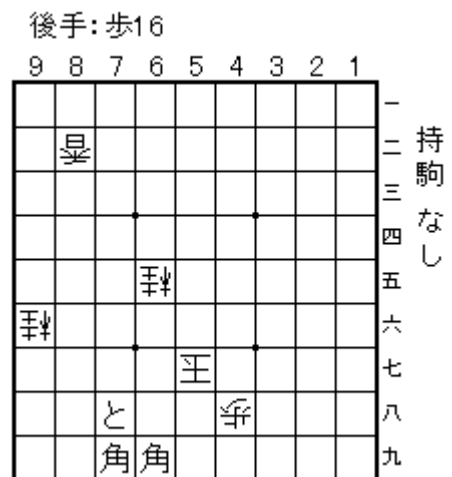
よって、出題作に追加する次第です。

(注記)

「おもちゃ箱」掲示板に『受方の捨駒』の定義についてあれこれ書いたのですが、今回は出題上の事情もあって、いわゆる『中合・捨合』がそれに該当するとお考えください。厳密には攻方がその合駒を取らないと、「捨てた」ことにはならないと思うのですが…。

■ 22-01 たくぼん 協力詰 10 手 (受先)

※ 受方持駒に注意



■ 22-02 たくぼん 協力詰 67 手



■ 22-03 神無七郎 協力詰 113 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									持駒
									角
	金								
		王		王	王	金	金		
		飛		歩	桂		歩	金	
	王		歩	王	王	王		銀	
		歩	桂			桂	桂	銀	
		銀					銀	飛	

■ 22-04 雲海 協力詰 125 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									持駒
									角
		銀	銀	銀	王	王	銀	角	
		桂	桂	歩	歩	桂	飛	飛	
		金	香	王			歩	歩	
		金	香						
		金	香						
		金	香			歩			

P W C

ねえ PWCって
何？



パーソナル・ウォ
ーター・クラフト
の略で水上オート
バイの正式名称よ



し しらなかったわ



まあ あんたは
その程度の女よ



～果報は寝て待て～ 出題

担当：神無七郎

WFP17号で「果報は寝て待て」と題して募集した課題創作ですが、おかげさまで3人の方から7作品の応募をいただきました。これに担当の1作を加えて、全8作で解答を募集したいと思います。

まず、課題の内容を再確認してみましょう。今回の課題は「パスができれば短い手数で詰む詰将棋を作れ」というもので、(A)協力詰、(B)普通詰将棋、のそれぞれの分野での作品を募集するものでした。これをより厳密に表現すると以下ようになります。

【課題A】

受先形式の協力詰ならN手、通常の協力詰ならN+3手以上で詰む図を作れ。
ただし、両者の詰上りは(持駒も含めて)同一であること。

【課題B】

受先形式の詰将棋ならN手、通常の詰将棋ならN+3手以上で詰む図を作れ。
ただし、両者の詰上りは(持駒も含めて)同一であること。

出題図には通常通り攻方から開始した場合の手数と受方から開始した場合の手数を併記しています。例えば「5手&2手」ならば、通常通りなら5手詰で、受先形式であれば2手詰となることを示しています。解答に当たっては両方の手順をお答えください。

今回の課題はかなり条件が厳しく、特に【課題B】に関しては若干の希望限定や非限定を含むものもありますが、その辺りは寛容の心で見てくださいと思います。なお【課題B】の第3番はたくぼん氏の投稿作をヒントに担当が自分の旧作と組み合わせたものです(この辺は担当者特権ですね)。解くのはどれも易しいと思いますので、どしどし解答をお送り下さい。

解答締切：2010年2月15日(月)

送り先：神無七郎(janacek789@ybb.ne.jp)

※評点等は不要。短評歓迎です。

【課題A】

第1番 渡辺秀行氏作

協力詰 5手&2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			歩						四
			王		銀				五
									六
			金						七
									八
									九

持駒 なし

第2番 渡辺秀行氏作

協力詰 9手&2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
			歩						四
			王		銀				五
					桂				六
					金				七
									八
									九

持駒 なし

第3番 渡辺秀行氏作

協力詰 11手&2手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
		と							二
			と						三
									四
									五
銀	桂								六
角									七
	龍		歩	王	歩				八
	歩			王					九

持駒 なし

第4番 たくぼん氏作

協力詰 11手&4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
								王	七
								歩	八
									九

持駒 金歩

第5番 たくぼん氏作

協力詰 51手&4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
歩	歩	歩				歩	歩	歩	二
									三
	桂	歩	歩	歩	歩	桂			四
	歩	歩	歩	歩	歩	歩			五
	香			龍		香			六
		銀				香	王		七
	香	歩	歩	歩	歩		歩		八
						歩	桂		九

持駒 金桂

【課題B】

第1番 たくぼん氏作

詰将棋 13手&4手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
馬									一
			圭					歩	二
					杏			歩	三
					香	桂		飛	四
							皇	歩	五
				馬		王			六
								歩	七
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	香	八
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	九

持駒 なし

第2番 志賀友哉氏作

詰将棋 19手&14手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								歩	一
		王		歩		龍		歩	二
		歩		王	皇				三
									四
		香	と		と		皇		五
		香			歩	歩	歩		六
	銀	歩		歩	銀			歩	七
歩	歩	歩		歩	歩	歩	歩	歩	八
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	九

持駒 歩

第3番 神無七郎作

詰将棋 55手&18手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	馬						銀		一
					歩	と	香		二
					香		歩		三
								馬	四
歩							歩	歩	五
皇	歩	歩					王	歩	六
歩	歩	皇		桂	金				七
歩	歩	歩	歩	銀	歩	歩	歩		八
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	九

持駒 歩

解答者：4 名

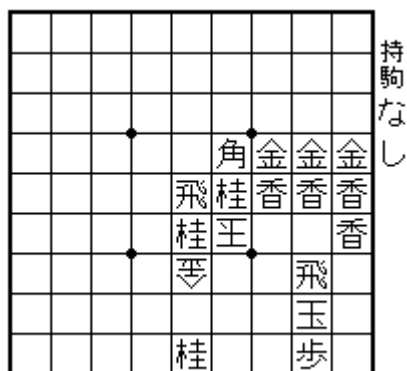
全題正解者：市村道生氏 神無七郎氏
たくぼん氏

5 題正解者：雲海氏

【前節】

何というか、3 日で書くのは無理らしい。最低、5 日は欲しい所ですね。精神衛生的にも。。。

第 1 番 雲海氏作 協力自玉詰24手



【作意】

26 飛 36 角 同飛 同玉 69 角 58 金 同角
47 飛 46 金 26 玉 36 金 16 玉 49 角 38 香
同角 27 桂 19 香 18 銀 同香 17 歩 26 金
同玉 37 銀 同飛成 迄 24 手

【作者コメント】

38 香合からの手順を見つけたので、そこから無理やり 7 種合になるように逆算したものです。余詰が強力とはいえ、16 香の配置がちょっと残念です。紛れは 58 金のところでの 58 飛くらいなので易しい方かと。構図が重いのはしょうがないと思いますが、面積が割合小さくできたので、これで良しとしました。

【担当者コメント】

一見して七種合に見えない所から出る七種合です。香が 4 枚盤面に配置されているので一目では分からないはず。攻方の手は限られているので合駒読みが基本です。手探りで進む感じですが 58 金が見えれば何とかかなります。作者の修正案だと、打合の七種合ですね。ww 発表時に気付いていればと悔やまれますがそれでも好局ですね。

【短評】

市村道生氏：

合駒の選択が中心なので、雰囲気的には最悪詰の感じがします。飾り駒の作り方が巧く感服しました。

雲海氏：

59 桂→39 桂にすれば、57 金→57 歩にできたことに最近気が付きました。こちらの方が軽いかな。そういえば 7 種合の最小面積の記録作は何でしょうか？

神無七郎氏：

この形から 7 種合！さりげない配置で凄いいことをやりますね。26 手で詰む紛れも多く、解図難度も高いと思います。これで金合が移動でなく「打」なら最高ですが、さすがにこの作者でも難しかったのでしょうか。

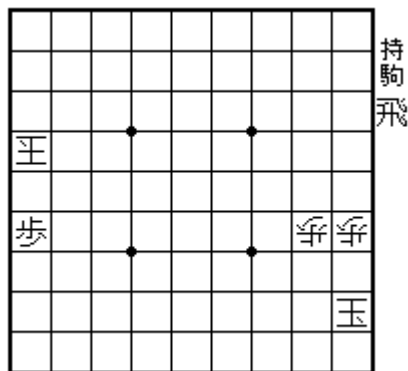
たくぼん氏：

序で飛を渡すので、6 手目飛合とばかり読んで時間が掛かりました。58 金を発見してからはあっという間でした。

第 2 番 神無太郎氏作

PWC 協力自殺スタイルメイト18手

命名「サザンクロス」（後手の持駒無制限）



【作意】

64 飛 74 角 95 歩 93 玉 63 飛生 73 角 94 歩
92 玉 93 歩生 91 玉 61 飛生 71 角 92 歩生
同玉 62 飛生 72 角 同飛生 / 62 角 82 角打
迄 18 手

【作者コメント】

※ f m で簡易検討済み。成禁条件を付加して 158 時間

※ 命名の由来。書くまでもないですね

【担当者コメント】

言う事はないですね
天空に輝く星です。。美しい…

【短評】

市村道生氏：

飛車の始末に苦労しましたが、美しい終形を見て感激しました。駒制限なしの作品には、仄かなロマンを感じます

雲海氏：

題名のおかげでスタイルメイトの形がわかりやすかったです。しかし、玉のせいで折角の南十字星がちょっと変に（笑）

神無七郎氏：

虚空に突然姿を現す角の十字架。本物の南十字星は日本では沖縄でしか見られないそうですが、盤上ならばどこでも見られますね

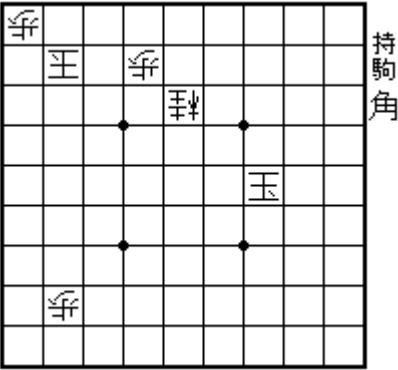
たくぼん氏：

見事な南十字星。新婚旅行を思い出すなあ。
見事な手順と命名

第3番 神無太郎氏作

PWC 協力自殺スタイルメイト18手

命名「イージス」（後手の持駒無制限）



【作意】

19角 28香 同角 55飛 同角 /28飛 71玉
77香 76飛 同香 /77飛 75飛 同香 /76飛
74飛 同香 /75飛 73飛 同香生 /74飛 72飛
同香生 /73飛 同玉 迄 18手

【作者コメント】

※命名の由来 飛車の盾で王、角の動きを封じる

【担当者コメント】

飛の美しい壁です

【短評】

市村道生氏：

前題の影響で紆余曲折。香を取得する手順が浮かび一歩前進。2枚の歩の意味が判って解決。豪華絢爛の終形が圧巻です

雲海氏：

2が角だったから今度は飛かな、と予想はしていましたが、角の処理に四苦八苦。ピンすればよいことに何故かしばらく気が付かなかったです

神無七郎氏：

88歩と91歩は敵の間諜。飛の壁を余分に作って連絡を絶つ。自玉スタイルメイトなのに一旦駒を入手する展開も新鮮で、駒数無制限の物珍しさに依存しない作品価値を持っていると思います

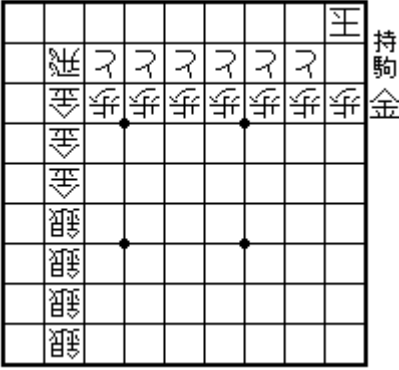
たくぼん氏：

2番があったのである程度予想がつきました。飛合の意味がいろいろあるのがいいですね。

第4番 神無太郎氏作 PWC 詰104手

命名「ブルーライン」

受先、同一局面4回となる手は禁手



【作意】

21玉 12金 31玉 22金 /12と 22と /12金
22金 /12と 22と /12金 22金 /12と 41玉
32金 /22と 32と /22金 32金 /22と
32と /22金 32金 /22と 51玉 42金 /32と
42と /32金 42金 /32と 42と /32金
42金 /32と 61玉 52金 /42と 52と /42金
52金 /42と 52と /42金 52金 /42と 71玉
62金 /52と 62と /52金 62金 /52と 62と
/52金 62金 /52と 81玉 72金 /62と
72と /62金 72金 /62と 72と /62金
72金 /62と 92玉 82金 /72飛 82飛 /72金
82金 /72飛 82飛 /72金 82金 /72飛 93玉

83金 /82 金 83 金 /82 金 83 金 /82 金
 83金 /82 金 83 金 /82 金 94 玉 84金 /83 金
 84金 /83 金 84 金 /83 金 84 金 /83 金
 84金 /83 金 95 玉 85金 /84 金 85 金 /84 金
 85金 /84 金 85 金 /84 金 85 金 /84 金 96 玉
 86金 /85 銀 86 銀 /85 金 86 金 /85 銀
 86銀 /85 金 86 金 /85 銀 97 玉 87金 /86 銀
 87銀 /86 金 87 金 /86 銀 87 銀 /86 金
 87金 /86 銀 87 銀成 /86 金 87 金 /86 全
 87全 /86 金 87 金 /86 全 87 全 /86 金 87 金
 /86 全 98 玉 88金 /87 銀 88 銀 /87 金
 88金 /87 銀 88 銀 /87 金 88 金 /87 銀
 88銀成 /87 金 88金 /87 全 88 全 /87 金
 88金 /87 全 88 全 /87 金 88 金 /87 全 99 玉
 89金 /88 銀 89 銀 /88 金 89 金 /88 銀
 89銀 /88 金 89 金 /88 銀 89 銀成 /88 金
 89金 /88 全 89 全 /88 金 89 金 /88 全
 89全 /88 金 89 金 /88 全 迄 104手

【作者コメント】

※命名の由来

マラソンのコースガイド。11から99までの長距離をコースに沿って最短距離（91不通過）で走る。終盤になるほど玉の進む速度が遅くなる

【変化・紛れ】

1. 初手の変化
 - ・ 21玉＝作意
 - ・ 12玉11金迄早詰
 - ・ 12と21金迄早詰
 - ・ 21と12金迄早詰
 - ・ 記以外の駒移動、12金迄早詰
 - ・ 12に駒打ち、21金 迄早詰
 - ・ 12以外に駒打ち、12金 迄早詰
2. 2手目の紛れ
 - ・ 12金＝作意
 - ・ 11金31玉21金41玉…81玉71金92玉迄逃れ
 - ・ 31金 12玉 迄逃れ
3. 段移動中の変化
 - ・ m1 玉＝作意
 - ・ m2 玉 /n1 金、 m1 金 まで早詰
4. 39 手目の変化
 - ・ 92玉＝作意
 - ・ 91玉 82金 /72 飛 82飛 /72 金
 82金 /72 飛 82飛 /72 金 82金 /72 飛
 82玉 /91 金 92金 71玉 81金 61玉
 11玉 21金 迄早詰

【担当者コメント】

千日手を利用したくるくる級の趣向作でした

【短評】

市村道生氏：

このルールでの不思議な手順。とにかく、解答を書くのが一仕事でした

雲海氏：

なるほど、こんな趣向が出来るんですね。勉強になりました

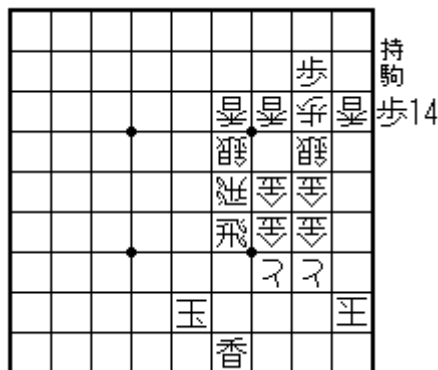
神無七郎氏：

「おもちゃ箱」の「くるくる」でも出題できそうな易しい趣向作。12 玉型から始められなかったのが惜しい。「ブルーライン」はこの場合、横浜の市営地下鉄のことでしょうか？

たくぼん氏：

う～む。銀は成生 2 種類あるので伸びるのか……。全く捻りが無いのが気持ちよいです。

第 5 番 神無七郎氏作 攻方取禁協力詰 105 手



【作意】

48飛 29 玉 28 飛 39 玉 38 飛 29 玉 39 飛
 18玉 38 飛 28 と直 19歩 同玉 39 飛 18 玉
 19歩 同と 38 飛 17 玉 18 飛 27 玉 17飛
 38玉 18 飛 28 と 39 歩 37 玉 38 歩 27 玉
 17飛 38 玉 39歩 同と 37 飛 28 玉 38 飛
 17玉 37 飛 27 金直 18 歩 同玉 38飛 17 玉
 18歩 同金 37 飛 16 玉 17 飛 26 玉 16 飛
 37玉 17飛 27 金 38 歩 36 玉 37 歩 26 玉
 16飛 37 玉 38 歩 同金 36飛 27 玉 37 飛
 16玉 36 飛 26 金直 17 歩 同玉 37 飛 16 玉
 17歩 同金上 36 飛 15 玉 16 飛 25 玉 15 飛
 36玉 16 飛 26 金 37歩 35 玉 15 飛 25 銀
 36歩 34 玉 35 歩 24 玉 14 飛 35 玉 36歩
 同銀 34 飛 25 玉 35 飛 14 玉 34 飛 24 桂
 15歩 同玉 16歩 25 玉 35 飛 14 玉 15 歩
 迄 105手

【作者コメント】

収束を作るのに少してこずり、趣向性が崩れて

しました。変なところで難解になっているかも

【担当者コメント】

飛繰り＋移動合＋歩打で凝り固まった金群を上部に移動しながら玉を下部に追っていく趣向作品になっています。この趣向部分が見えやすいのですが、そのまま追っていくと詰まないという事に……最後に破調があって趣向性が崩れるので少し難解になっているようですがこの破調の仕方は悪くないと思います

【短評】

市村道生氏：

惰性で趣向を繰り返して失敗。緻密な飛車の手順が印象に残る好局です

雲海氏：

時間がなく無解です。後で鑑賞します

たくぼん氏：

同じような順で収束に入ろうとしたらダメで苦勞しました。いつもながらの濃い内容で楽しめました

第 6 番 たくぼん氏作 強欲協力詰89手

歩	歩	歩	歩	と	歩	マ		王	持駒なし
歩					と		歩		
			香				歩		
		香				桂			
馬			銀			金	歩	桂	
	香		歩		歩	歩	歩		
王				銀	マ	歩	銀	銀	
歩	と	歩			皇		龍		
		飛				桂		角	

【作意】

23桂生 12玉 11桂成 同玉 21歩成 同玉
31と 同玉 41と 同玉 42桂成 同玉 51馬
同玉 61香成 同玉 71香成 同玉 81香成
同玉 91歩成 同玉 92歩 同玉 93歩 同玉
94歩 同玉 95歩 同玉 96歩 同玉 97と
同玉 89桂 同金 98歩 同玉 99歩 同玉
89飛 同玉 79金 同玉 68銀 78玉 67銀
同玉 56銀 66玉 55銀 同玉 47桂 46玉
36金 47玉 48龍 同玉 49歩 同玉 38銀
同玉 39香 同玉 28銀 38玉 27銀 同玉
26金 同金 28歩 37玉 27金 同金 同歩
同玉 28金 36玉 37金 45玉 46金 54玉
55金 63玉 64金 72玉 73金 81玉 82金
迄 89手

【作者コメント】

強欲ばかり詰煙の最長手数を狙いましたが100手越えは難しかった

【担当者コメント】

何時ものように？煙詰です

11手目の42桂成が81手目の応手で54玉逃げさせるのを可能にする為の伏線となっています。この伏線は95が角でなく馬である事で先に看破されるのが少し残念ですが…

一度下部から上部へ上り、そして金追いで一気に下部へおいやって収束するのは気持ち良いものがあると思います

【短評】

市村道生氏：

51馬の理由が、収束の段階で判りました。右下部の捌きは。何時もながらの切れ味、好局です。

雲海氏：

「なぜ95は角でなくて馬なのだろう？42桂成とすれば51角が成生の非限定になるから、馬である意味が分かるなあ。やってみるか」70手数後・・・なるほどと思いました。ここまで効果が現れるまでが長い伏線手は凄いですね。できれば62銀配置だと伏線としてはより効果的だったと思うのですが、どうでしょうか？

神無七郎氏：

最初は周辺巡りの匂いがブンブンしていたのに、途中から玉が中空をさまよい、最後は一気の斜滑降。解いていない人に詰上り玉位置を予想させてもまず当たらないと思います。

42桂成の伏線は少し無理やりっぽいですが、謎解きを重視する作者の嗜好が現れていますね

たくぼん氏：

序をもう少し懲りたかったですね

【総評】

神無七郎氏：

実を言うと神無太郎氏の作品は見せてもらったことがあるので、今回はかなり楽をさせて貰いました。でも、太郎氏の作品は論理的に解けるものが多いので、知らなくてもそれほど苦勞しなかったでしょう。今回一番難しかったのは多分第1番の雲海氏作だと思います

たくぼん氏：

今年もよろしくお願ひします。初心者にも易しい作品を毎号いくつか欲しいですね

開催日 : 2009 年 12 月 6 日 (日)
 解答発表 : 2010 年 1 月 9 日 (日)

神無七郎 作

強欲協力詰 59 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	香	一
								王	二
						王		と	三
								と	四
						馬	歩		五
						飛	香	飛	六
						桂	桂	王	七
						歩		香	八
						香		香	九

持駒 金4桂2香2歩2

【ルール説明】

協力詰 (=ばか詰)

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

強欲

攻方は駒を取る王手があれば、その手を選択しなければならない。

受方は駒を取る王手回避手があれば、その手を選択しなければならない。

【手順】

29 桂 同銀生 18 歩 同玉 17 金 同飛成
 28 金 同龍 17 金 同玉 18 歩 同銀生
 29 桂 同龍 16 金 同玉 15 と 同玉
 14 と 同玉 17 香 16 金 同香 15 金
 同香 同玉 14 金 同玉 13 金 同玉
 17 香 16 金 同香 15 金 同香 14 金
 同香 同玉 13 金 同玉 23 金 14 玉
 13 金打 同香 同金 同玉 17 香 16 金
 同香 15 金 同香 14 金 同香 同玉
 13 金 同玉 12 金 同玉 23 金 迄 59 手

神無七郎 作

強欲協力詰 59 手 (詰上り)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							馬	香	一
								王	二
						王	金		三
									四
						馬	歩		五
						飛	香		六
						桂	桂		七
						歩		香	八
						香	龍	香	九

持駒 なし

【解説】

香で金を稼ぎ何度も玉を追い落とす後半の手順が本作の主眼。合駒として使える駒が増えると余詰が出るので、これ以上繰り返しを増やすことはできませんでした。序盤は合駒制限のための配置を使い切るために入れたもので、17 地点に受方の利きが残らないよう銀を常に不成で使うことに気をつければ、それほど難しくなかったと思います。

ちなみにこの趣向は、WFP17 号の第 4 番たくぼん氏作の強欲強力詰を解いているときに思いついたものです。そのときは「これはだんだん駒が増えるサイクル拡張型の趣向になるかも…」などと取らぬ狸の皮算用をしていたのですが、現実には余詰に負けて最小限のサイクルで終わってしまいました。このルールでやるかどうかは分かりませんが、いつか再チャレンジしたいものです。

【正解者及びコメント】 (正解 7 名 : 到着順)

香箱さん

17 香を可能にして金合いさせればあとはオートマチック。
 湯水のごとく使ってもすぐに手元に戻ってくる金。人生も斯くありたい。

- ☆ 香箱さんの解答は出題当日の深夜に到着。ダントツの最速解答です。確か出題自体も結構遅い時間だったと思うので、正に瞬殺だったのでしょう。
現実では金は使ったらなかなか戻ってくれないので、詰将棋では景気良く使いたいものですね。

若林さん

強欲はあまり解いたことがなく、不慣れな分手間取りましたが連合のリフレインが面白かったです。最後4連合にできたら楽しいですね。

序の16手は金を渡す、銀生のスイッチバックなどの様式美はありますが、解図という立場では必然手になってしまっちゃってちょっと残念でした。

- ☆ 確かに最後は4連合になるまで頑張るべきだったかもしれません。
序盤は合駒制限がただの飾りにならないように後から付け足したもののなので、ちょっと物足りなかったと思いますが、どうかこれでご勘弁ください。

渡辺さん

最初は玉を横から引っ張り出そうとして王手が続きましたが、「後に引っ張り出せば香車を使って駒が稼げる」ことに気付いたとたんに出来ました。

(後手の持駒が「歩」だけと種類が少ないので合駒を取る手順が出る(本問だと飛合との選択による余詰が出にくいので)ことは予想していたのですが...)

よく考えれば、二枚の「と金」の存在意義から玉を後に引っ張り出すのが自然なのでした。

解いてみると12香を手順に奪ってさらに駒数稼ぎをするのがなるほど、と思いました。前回、私自身について書きませんでした。詰将棋はやらなかったのですが、将棋関連のパズルとではチェスPGをやっていました。おもちゃ箱で推理将棋を知って以来、推理将棋にはまっています。

詰パラでも推理将棋を数作採用して頂いていますし、おもちゃ箱でも10作前後採用して

頂いています。

(神無七郎さんも、おもちゃ箱の18-1を解答して頂いています)。

OFMを知ったきっかけはmixiの推理将棋のコミュニティ→たくぼんさん→WFP→OFMという流れです。

- ☆ なるほど、推理将棋の方で活躍されている渡辺さんでしたか。これは、普通に推理すれば当てられるはずでした(何とも鈍い私)。今後はフェアリーでの活躍も期待します。

ちなみに解答のメールにあった別件にこちらから何度か返信したのですが、届いてますでしょうか？

もし届いていないようでしたら、別のアドレスあるいは連絡法をお知らせ下さい。

たくぼんさん

持駒の香と歩の使い方を考えれば香打ち～合駒の手順はありそう。合駒打順限定しようとすれば同一駒連合だろう。

とすれば序は17に香を打てるようにすれば・・・。と思いつきの展開で解図が出来ました。

こりゃあ平成22年はいいことがあるかもね。

- ☆ 一連の煙詰や趣向作で、もう強欲詰については大家と言って良いたくぼんさん。本作も楽々解図されたようです。
解答、創作、そして近年では編集者としても大活躍のたくぼんさん。今年も期待していますよ。

市村道生さん

下段での龍の閉じ込め手順はスリル満点。
中盤以降は、派手な金の消耗戦。景気が良かった頃を、懐かしく回顧しました。

- ☆ 市村さんの解答用紙には手順だけでなく、詰上り図も添えられていました。
この作品のように途中に手順前後などの紛れがない作だと、詰上り図だけでも解けているかどうかが分かります。
手順が一本道で、書くのが面倒そうな作品の場合は、「詰上り図だけでもOK」とい

う解答募集の仕方も試してみたいと思います。

瘋癲老人さん

飛車をやり過ぎしてしまえば後は香打ち、金合の繰り返しで軽快に詰め上がる。
今年は難解な強欲詰に悩まされたせいかこういうのはほっとします。

- ☆ 強欲詰は難解作も作れるのですが、元々は着手制限型ルールなので、本作のような軽趣向も作りやすいはず。
もっとこのルールを手掛ける人が多くなれば、きっと多彩な趣向が見られるのではないかと思います。

雲海さん

導入部が少々厄介でしたが、後は（と）金を捨てて、香で金合させる、という趣向で楽しめました。
解いている途中、機構は違うのに（共通点はありますが）なぜか「明日香」を想起しました。
また1筋の受方の香の数を増やせないかと、少し考えてみましたが難しそうですね。

- ☆ 添川氏の「明日香」は看寿賞を受賞した傑作。「おもちゃ箱」のページで金合回数の記録作品としても登録されていますので、ぜひ鑑賞してください。
香の数は私も増やしたかったのですが、余詰で断念。ちょっと無理っぽいですが、どうにかして実現したいですね。
- ☆ WFP の発行間隔と出題時期を合わせるため解答募集期間を5週とした今回の出題ですが、その効果があったのか、わずかながら解答が増えました。
これで 2009 年分の出題が終わりましたので、後日集計して 2009 年の解答成績を発表したいと思います。
次回は久々にフェアリー駒が登場の予定。
せっかく増えた解答がまた減らなければ良いですが…

（2010.1.10 七郎）

2009年度解答成績

（第143回～第154回までの得点による）

氏名	解答数
たくぼん	11
雲海	10
隅の老人B	8
瘋癲老人	7
橋 圭吾	5
洞江元太	5
香箱	4
小峰耕希	4
市村道生	3
花井秀隆	3
真T	2
伊達悠	2
若林	2
渡辺	2
KY	1
シン	1

第7回 詰四会フェアリー作品展

課題：田舎の曲詰

★ 第7回を迎えた詰四会フェアリー作品展ですが、解答者僅か3名という寂しい結果になってしまいました。ルール名と手数で敬遠？

①～④の作者のコメント

神無太郎

「いなか」はおろか「曲詰」も怪しい類作ばかりですが、「だいたい1」ということでお許しください。

① 神無太郎 作

PWC ばか自殺スタイルメイト 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
									二
									三
									四
						王			五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

56 香 55 飛 同香 /56 飛 54 金
同香 /55 金 53 飛 同香生 /54 飛 52 角
まで 8 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
				角					二
				香					三
				飛					四
				金		王			五
				飛					六
									七
									八
									九

持駒 なし

雲海

苦戦しました。理由は 52 角が見えず、最後は「52 香生、同玉」だと思い込んだため。情けなや。

★ PWC ルールでは小駒しか取る事が出来ませんが、この作品で駒を取ってはいは8手でスタイルメイトには不可能。というわけで合駒を巧みに使い先手玉が動けないようになるように利きを調整しながら合駒を考えていきます。

4.6 段は飛、45 は金、25 は角。最終手 52 香と取ると角が 53 に交換されて逆王手です。

② 神無太郎 作

PWC ばか自殺スタイルメイト 8手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
									二
					王				三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

56 香 55 角 同香 /56 角 54 角
同香 /55 角 53 金 同香生 /54 金 52 飛
まで 8 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
				王					一
				飛					二
				香	王				三
				金					四
				角					五
				角					六
									七
									八
									九

持駒 なし

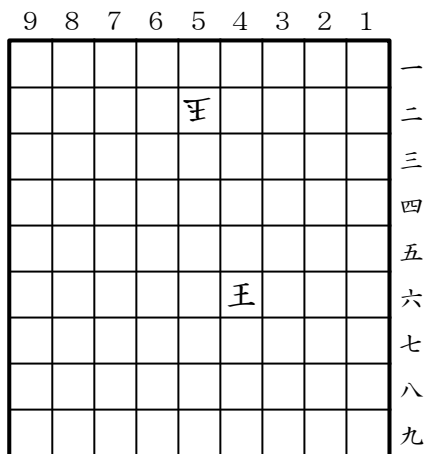
雲海

①が解けたおかげで、すんなり出来ました。

★ 1番が解ければ考え方が分かり楽しめるでしょう。ポイントは詰上り 54 の金です。54 飛が 34 も抑えられ効率よさそうですが 33 を抑える 55 角が必要なため、最後 54 王 /43 飛と取られてしまいます。

③ 神無太郎 作

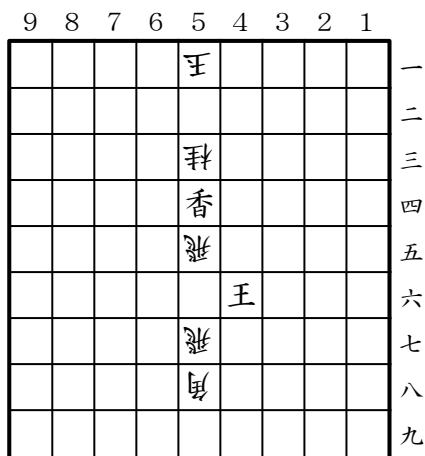
PWC ばか自殺スタイルメイト 8手



持駒 香

58 香 57 角 同香 /58 角 55 飛
同香 /57 飛 54 飛 同香 /55 飛 53 桂
まで 8 手

詰上図



持駒 なし

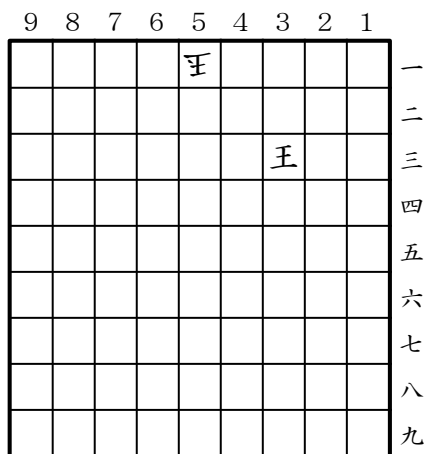
雲海

今度は桂。このルールで最終手桂は珍しいかも。

★ 先手玉との距離の関係で最終手桂。1番と考え方は同じです。

④ 神無太郎 作

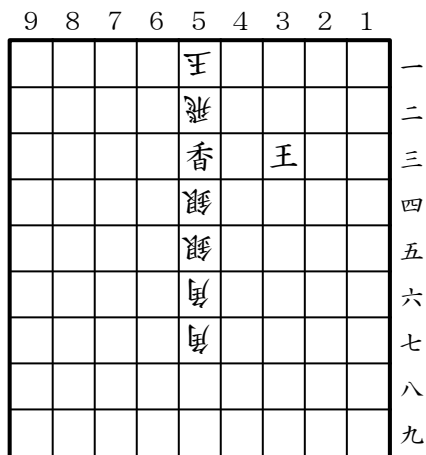
PWC ばか自殺スタイルメイト 10 手



持駒 香

57 香 56 角 同香 /57 角 55 角
同香 /56 角 54 銀 同香 /55 銀 53 銀
同香生 /54 銀 52 飛 まで 10 手

詰上図



持駒 なし

雲海

あと 2 枚で駒柱完成ですが、双裸玉ではこれが限界なのかなあ。

橋本孝治 (①～④の総評)

まるで自らの存在証明のように飛跡を残して進む香。王と玉のわずかな位置関係の違いが飛跡の姿形を様々に変える……霧箱や泡箱に残った飛跡によって素粒子の研究をする科学

者になった気分。

市村道生（①～④の総評）

詰四会に因んでの双裸玉4題。王の位置に応じて、夫々の終形の想定が楽しめました。合駒の主体は、飛・角ですが、金銀の他に桂なども出て来て、パズル性にも富んでおります。

★ 斜め後ろに利く駒4連打。最終手が飛と読みやすいので解きやすいと思います。

1作だけでは物足りないが4作集まれば解きやすく結構楽しめる作品群ではないかと思えます。ただ詰上りが「だいたい1」というのはさすがに強引でしたかねえ。まあこれが詰四会らしさとでも言うておきましょう。

⑤ たくぼん 作 強欲ばか詰 83手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
	歩	と	と			歩		歩	一
王				銀	銀		歩		二
歩	桂			と	と	と		金	三
王	歩								四
	香	歩							五
	香		歩				歩	飛	六
	香			歩		王	ス	歩	七
角	香				歩	角			八
銀	銀	金	金		桂	飛		桂	九

持駒 なし

91 桂成 同玉 81 と 同玉 27 角 同圭
71 と 同玉 62 と 同玉 52 と 同玉
42 と 同玉 31 飛成 同玉 22 金 同玉
11 飛成 同玉 22 銀 同玉 33 銀 同玉
34 歩 同玉 35 歩 同玉 27 桂 26 玉
38 桂 27 玉 28 歩 38 玉 39 歩 49 玉
59 金 同玉 69 金 同玉 78 銀 同玉
89 角 同玉 98 銀 88 玉 97 銀 87 玉
96 銀 86 玉 95 銀 85 玉 94 銀 84 玉
93 銀生 75 玉 84 銀生 66 玉 75 銀 57 玉
66 銀 48 玉 57 銀 39 玉 48 銀 28 玉
37 銀 17 玉 28 金 16 玉 17 歩 25 玉
26 歩 35 玉 36 銀 26 玉 27 銀 15 玉
16 歩 25 玉 26 銀 16 玉 17 金 まで 83 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
							銀	王	六
								金	七
									八
									九

持駒 なし

橋本孝治

作品展の趣旨から言うと、煙詰ではなく全駒曲詰と呼ぶべきなんではなか？

普通のルールでは2手逆算すらできない詰上り。

雲海

肩の力を抜いたといいますか、軽く創ったという印象を受けましたが、果たして？

それにしても今月は強欲煙が多かったなあ。でも楽しめたので良かったです。

市村道生

序盤から終始華麗な手順が続きます。思わずウツトリと眺める一幅の絵巻物。最後は、緊迫感のある巧い収束。傑作です。

★ 考えるところがほとんどない1作。詰上りは「カッコ右上」です。そんなものあるの？

【総評】

橋本孝治

普通の曲詰とは違った意味で形を楽しむ作品群。鑑賞にちょっと視点のヒネリが必要ということで、これもフェアリーらしいかもしれません。

雲海

①～⑤全てが何の曲詰かがわかりませんでした（笑）むしろ双裸玉と煙しかない、美しい作品展となっていた気がします。

★ う～む。喜んでいいものか・・・

全題正解者：橋本孝治、雲海、市村道生

フェアリー版「迷宮の果てに」 記録更新！！

協力詰（ばか詰）でも普通の詰将棋でも同一の解が正解となる詰将棋を作れ

WFP15号で募集し、次の16号で結果を発表した『フェアリー版「迷宮の果てに」』ですが、この程記録が更新されましたので報告します。記録更新者は志賀友哉氏です。

まずはこの企画の課題を再確認してみましょう。

【問1】

普通の詰将棋と協力詰の両方のルールで同一の解が正解となる図を示せ。

【問2】

普通の詰将棋と協力詰の両方のルールで同一の解が正解となる図を示せ。ただし、すべての攻方の着手に正解以外の紛れがあること。

今回更新されたのは【問2】の記録です。従来はたくぼん氏の樹立した31手の記録が最高だったのですが、志賀友哉氏の作品はこれを2手更新する33手を達成しています。

さっそく図と詰手順を見ていただきましょう。

志賀友哉氏作

詰将棋・協力詰 33手

(2010年1月16日投稿)

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一	金									▲なし
二	金	歩	金	銀	銀			将	将	
三	金		歩	歩	歩	歩	将	将		
四	歩	桂	将				王			
五	香			桂	馬					
六	香	遊	笛		玉		歩	歩	と	
七	香		桂		将		と	と	と	
八	香									
九	飛	銀								

25と 44玉 35と 54玉 45と 64玉
55と 75玉 64角 84玉 83金 同玉
93歩成 84玉 83と 同玉 93香成 84玉
83杏 同玉 93香成 84玉 83杏 同玉
93香成 84玉 83杏 同玉 93香成 84玉
83杏 同玉 93飛成 まで 33手

【作者のコメント】

詰パラの一本道詰将棋のページにある福優慶麗氏作があるため、協力詰でも香連捨てが可能になります。まず問1でやってみたのですがどうもうまいかず、少し変形させて問2に持ち込む形にしました。このせいで前半が寂しくなっていました、これ以上は思いつきませんでした。

従来の記録であった、たくぼん氏の作品は徹底した金追いにより盤の周辺部付近を追い回す機構だったのですが、本作では香連捨てで手数を稼ぎ、新記録を樹立しました。作者のコメントにある福優慶麗氏作は詰将棋パラダイスの「鑑賞室」には『番外編1「一本道詰将棋」』の中で紹介されています

(<http://www005.upp.so-net.ne.jp/tsumepara/contents/4appre/appre/appre03.htm>) ので、ご確認下さい。

福優慶麗氏作 35手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
一			金							
二	歩		歩	将						
三	と			将		金				
四	香	将	将		将		馬	玉		
五	香		将		将	将	将	将	将	
六	香		と	将			将		王	
七	香			将	将					
八	龍		と	歩	歩	歩	歩			
九	飛			と	桂	桂	桂			

持駒 なし

志賀氏はこの福優慶麗氏作を参考にされたわけですが、この構図そのままだと香連捨てに入ったときに作意以外の紛れがなくなるので、余詰が生じない程度の紛れを持たせた導入が必要になります。本作ではそれを角打ちによって行い、金追い手順とうまく繋げています。香を使い切った構図で序奏を伸ばすのはかなり難しかったと思いますが、記録更新をできたのは、後から来るものの強みでしょう。長編に使われる機構の中には、繋ぎ部分さえうまく作れば、本作のような準一本道詰将棋に応用できるものもあるので、その開発にも期待したいですね。

また、この作を見て感じるのは「鑑賞」の大切さです。折に触れて過去の作品を鑑賞することは、新しい作品を創るに当たってはとても有用なことです。鑑賞の対象を「傑作」や「名作」に限る必要はありません。福優慶麗氏作は35手詰で、一本道詰将棋としては玉野忠捨氏作の43手詰に及ばなかったわけですが、今回は志賀氏の慧眼により新たな可能性を見出されました。長い詰将棋の歴史の中には埋もれてきた作品が多くあり、見過ごされてきた発展の萌芽も数多くあるはず。次にそれを見つけるのは貴方かもしれません。

フェアリー版「迷宮の果てに」現在の記録

【問1】53手（たくぼん氏）

【問2】33手（志賀友哉氏作）

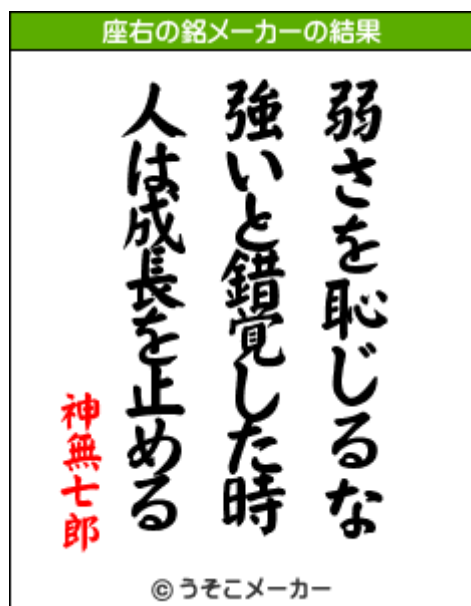
※今後も随時投稿を受け付けます。宛先は神無七郎（janacek789@ybb.ne.jp）まで。

（2010年1月17日 神無七郎）

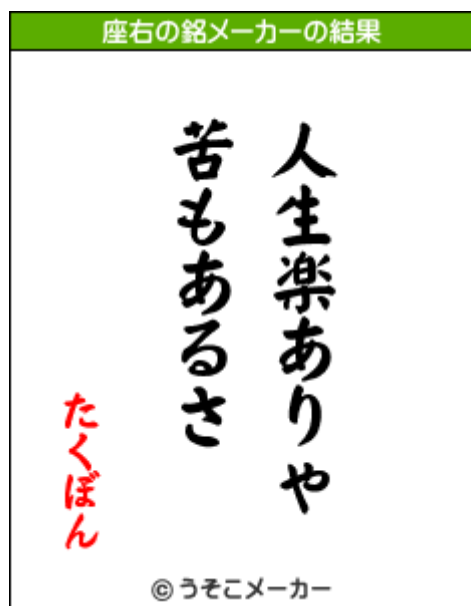
----- 座右の銘メーカー -----

図面をたくさん使う WFP の編集は中途半端にあく空白との戦いでもある。これまでは四コマ漫画でお茶を濁してきたが、いいかげんに飽きてきた。そんなときに七郎さんからこんながありますよとメールを頂いたのが座右の銘メーカー（<http://usokomaker.com/zayu/>）なるもの。

自分の名前を入力すると勝手に座右の銘を明示してくれるというものでさっそく試してみた。



* さすがに内容があります。



* これ？ どういうこと～～～

第5回詰将棋課題コンクールをばか詰で

担当 たくぼん

WFP17号にて募集しました「第5回詰将棋課題コンクールをばか詰で」でしたが課題が難しすぎたためか締切までのエントリーは僅かに1名。その後、再募集で3作+αが集まり、何とか全部門集まりました。感謝感謝。

新しく募集した課題は以下の通り。

【新課題】

- ・ 限定打（最遠打）で打たれた駒の（打った次の移動が）8マス移動
- ・ 単玉のばか詰

まだしも双玉可にしておけばよかったものの、単玉を付けたものだから課題が激ムズになってしまったようです。しかしそれにも負けず投稿された作品は凄いのばかり・・・。

【飛版】

投稿が全然無かったので自分で考えてみましたが、飛を最遠打するというのはまさに余詰との戦い。2手目合駒でも打った飛で追いまわす筋など・・・で結局考えつく筋は質駒狙いの最遠打からの横移動でした。成生非限定もありますので収束はちょっと考えました。で出来たのが次の図。

たくぼん作 ばか詰 25手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								香	一
						馬			二
	香	香	飛			馬	馬	香	三
				ス	ス	ス	ス		四
	桂		銀				ス		五
	歩	金	歩	銀	ス	ス	ス		六
	桂	銀	銀		桂	ス			七
	香		桂	香	ス			歩	八
王		馬	香			金	歩		九

持駒 飛歩

91 飛 89 玉 78 銀 同玉 67 銀 同玉 56 銀
57 玉 48 金 同玉 49 歩 38 玉 39 歩 27 玉
28 歩 16 玉 17 歩 15 玉 16 歩 14 玉 15 歩
13 玉 11 飛生 22 玉 21 金 まで 25手

打った飛を縦ではなく横に8マス動かすという姑息な手段を使っています。さすがこれでは鑑賞に堪えられないと思っていましたが・・・

1/12の解図日記で再チャレンジ要請しましたところ、七郎さんより素晴らしい作品が届きました。

神無七郎作 ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
					馬				四
				銀					五
香		香							六
香									七
香		歩	馬						八
飛	王	香							九

持駒 飛

81 飛 82 馬 99 馬 79 玉 19 飛 同馬
89 飛成 まで 7手

神無七郎

「飛版で苦戦とのことなので作ってみました。おそらく、たくぼんさんの意図に最も忠実な図だと思います。」

★ 馬筋を通させるために初手最遠打して 82 馬の移動合を可能にする。そして 19 飛のこれまた最遠打（7マスですが）で再び飛筋を通してドカンと 89 飛成までの詰み。条件をクリアーしただけでなく1つの作品としても傑作ではないかと思います。
なお後に出てくる香版の雲海作や七郎作も同様の構想であるのは驚きでした。

【角版】

神無七郎作 ばか詰 11 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
		馬							一
			金						二
									三
								歩	四
								馬	五
						桂	馬		六
						桂	龍		七
			金	金	金	歩		銀	八
			銀	銀	銀	龍	歩	王	九

持駒 角

91 角 82 香 同馬 18 玉 28 馬 同龍上
19 香 同龍 同角成 17 玉 18 飛
まで 11 手

神無七郎

「合駒制限の駒が多く、思いっきり無理作りですが、かなり難しい課題で余詰に苦しめられた結果です。」

★角版の投稿はこの 1 作。どれだけ難易度が高いか分かります。91 角の意味付けが全くビツクリの発想ですね。これは考えませんでした。最速打の意味は 82 の合駒のスペース確保です。守りが強烈で角馬の 2 段ロケットにしないと詰まないと言う見事な駒配置。さすがとしか言いようがありません。私の飛版と比べてもらえば凄さが分かりますね。まあ比べなくてもいいですけどね。

【香版】

最後まで投稿が無かったのがこの香版。このまま投稿無しで終わるのかと思っていた時に、まだ完全になりませんがこんな構想を考えていますと送ってくれたのが、dsk さん。これまた感謝感謝です。構想自体は面白いものなので何とか完全に出来ればと思うのですが。

dsk 作 ばか詰 想定作意 11 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
と							玉	飛	一
龍	馬								二
				ス	ス	銀		銀	三
					笛				四
						歩			五
									六
									七
									八
									九

持駒 香

作意は、

21 香、12 玉、28 馬、21 玉、73 馬、
31 玉、21 香成、41 玉、81 龍、52 玉、
51 龍までの 11 手

ですが、9 手の余詰がわんさか・・・

dsk 「仕掛としては、21 玉と逃がすために 28 馬と引けるように 29 香打ち・22 香成が NG で 21 香成限定とする仕掛は最終手同飛に対する合駒を事前にしておくというところなのですが...。去年からずっと考えていて出来なかったのであと一週間では完成しそうにないですが、香版が無いということです。一応アイディアだけでも。とは言っても大したものではなく誰でも思い付きそうなアイディアですが、使えそうなら使っていただければ幸いです。」

★さすがに 11 手では余詰が防ぐのはかなり難しそうです。28 馬と引くことが出来るように 29 香限定とはあつぱれ・・・なんです

★結局ここまでか・・・と思っていたときに送られてきたのが七郎氏と雲海氏の 2 作。似たような構想からそれぞれ個性的な手順になっています。私にしてみればこの手数でこれだけ内容のある手順を描き出すお二方に脱帽といった感じ。使用枚数は雲海氏 12 枚、七郎でし

た。これで何とか全部門に投稿があり、何とか企画失敗とまではいなくて済みました。ありがとうございました。

雲海作 ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			香		王	香	香		一
		香		香					二
		香		香					三
				桂					四
									五
									六
									七
						香			八
						香			九

持駒 香

49 香 48馬 31香成 51玉 15角 同馬
41 香成 迄 7手

雲海

「とりあえず香版を創ってみました。飛と角も少し考えてみましたが、やはり香が1番簡単のように思えます。思ったよりも飛と角は香以上に非限定・余詰が厳しいです。どれだけ花駒が減らせるかどうかですが・・・」

神無七郎作 ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			香	王	角	香			一
	香		香				香	香	二
						香			三
						桂			四
									五
			香						六
									七
									八
角					金				九

持駒 香

59 香 58桂成 33角成 41玉 48香 同成桂
51 香成 迄 7手

神無七郎

「原理的には飛版と同様ですが、香版も作ってみました。攻方を弱くし過ぎても余詰むの

で、飛版より難しかったです。」

★ それぞれの手順を比べて見るのも面白いですね。雲海氏は香が一番簡単と言い、七郎氏はそうでないと言う。これも興味深いですね。私も香が難しいと感じましたが、人それぞれの感性が違っていてもあたりまえですね。

【総評】

神無七郎

acceleration さんのコメントにもあったように、この課題コンクールはTTTと微妙に趣旨が違いますね。あちらは「与えられた課題の中で、どれだけ気が利いた作品を創れるか」を競うのですが、こちらはむしろ「限界への挑戦」に近い気がします。ただ、これはどちらが良いとかいう話ではなく、どういう趣旨のイベントかということなので、別に本家と趣旨がずれているから悪いというわけではありません。

私個人としては今回の課題は、いかに普段双玉で楽をしていたかが再認識できて、結構面白かったです。（逆に、ジャッジを設けて順位付け……なんて企画だったら参加しなかったと思います。）

★ 限界への挑戦！っていい響きですね。より難易度の高い課題を今後も取り扱っていきたいと思います。

★ ちょっとした思いつきで始めた今回のチャレンジでしたが、最後になって何とか形になった感じでホッとしました。期間が長すぎるのも意欲減退になるというのもよく分かりましたし、最後はお願いが一番（笑）かな。

★ 次回課題も募集します。こんなの挑戦して欲しいと言う課題がありましたら、お気軽にメールしてください。なるべく分かりやすいものがいいと思います。

担当 たくぼん

Onsite Fairy Mate 新春戯作

神無七郎作

協力詰 5手

フェアリー駒=(11|-11|01|-10):虎

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

虎 (盲虎)

中将棋の盲虎。前方を除く周囲1マスに動ける。

○		○
○	虎	○
○	○	○

なお、中将棋本来の盲虎とは異なり、この盲虎は成らない。

〔手順〕

44虎 64玉 53虎 55玉 54虎打 まで 5手

〔解説〕

1 から 1 への立体曲詰。「盲虎」は直前の利きを持たないため、クセの強い駒です。後ろや横の利きを最大限に使うのが、この駒の効率的な使用法と言えるでしょう。

(OFM HP 解説より転載)

詰将棋メモ年賀詰展示室

天津包子作 協力詰 5手

(* 詰パラ1月号フェアリーランド1番)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							歩		二
							歩	王	三
								王	四
							飛		五
							ス	銀	六
									七
									八
									九

持駒 飛

小林看空作 協力詰 57手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 桂歩2

長谷繁蔵 協力詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
							と		二
							桂	王	三
							歩		四
							銀		五
									六
									七
									八
									九

持駒 銀

たくぼんの解図日記

感想も届いておりますので掲載しておきます。
解答ありがとうございました。

たくぼん作 強欲ばか詰 6手 (受先)

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
			銀		歩				五
			王	金	角				六
			香		馬				七
									八
									九

持駒 銀2

55 銀 56 銀 同金 同角 同銀 54 銀
同玉 55 金 まで8手

雲海

(1通目)

初手が必然のため受先の良さがあまり出ず、
作意もこれでは確かに気乗りされなかった理由もわかります。

さて文字の変化は、「H」→(3手目「Y」?)→「T」だと思いますが、小1時間ほど考えてもさっぱり意味がわかりません。気になるなあ。

(2通目)

前回のメールで「T」→「H」がわからない、というコメントをしましたが、「阪神タイガース」だったのですね。

詰四会臨時作品展の結果稿でわかりました。でもこれで間違っていたら恥ずかしいです(笑)

でもなぜ阪神なのでしょう?「広島カープ」にはできませんでしたか?

(3通目)

トラ年だから「H」→「T」立体曲詰だったのですね。

年賀状のやり取りはしているはずなのに、どうして気がつかなかったのだろう・・・でもカープからみればタイガースはひどい相

手(移籍先?)ですから(笑)そこまで気を遣わなくても、良いのではないかと思います。

たくぼん作 強欲ばか詰 75手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
								角	一
									二
		銀	馬	香	馬				三
飛		王	銀	ス	歩	と			四
	と		香			金		と	五
と	馬	歩	銀	桂	香	金		と	六
香	馬	桂	歩	歩	香				七
角			香		と	桂		飛	八
と		と	と		香		王	歩	九

持駒 なし

28 飛 19 玉 18 飛 同玉 17 と 同玉
16 と 同玉 26 金 17 玉 27 金 同玉
37 と 同玉 36 金 38 玉 37 金 49 玉
59 と 同玉 69 と 同玉 87 角 68 玉
69 香 79 玉 89 と 同玉 98 角 同玉
97 と 同成銀 同飛 同玉 98 歩 同玉
87 銀 同玉 86 と 同玉 75 銀上 77 玉
66 銀 76 玉 65 銀 同玉 66 歩 同桂
同香 同玉 67 歩 57 玉 47 金 67 玉
57 金 同玉 49 桂 46 玉 55 銀 同玉
64 銀 56 玉 57 歩 45 玉 37 桂 34 玉
33 角成 同玉 45 桂 44 玉 53 銀生
45 玉 55 金 同玉 56 金 まで 75 手

雲海

簡単という広告に引き寄せられて解き始めましたが、41手目から紛れがいきなり増えて、いろいろと迷わされました。

いや、簡単ではなかったですよ・・・

最後は中央での「1」の曲詰(しかも伝統ルールでは不可能な詰上がり)で、解けて良かったと思わせてくれる作品でした。ありがとうございます。そういえば都での曲詰ですね。田舎の曲詰に対抗?

(注) 作意が未発表の作品の解は載せられませんのでご了承下さい。

妖精賞の系譜（7）

第 11 回 妖 精 賞 （1998 年）

この期は、読者投票による選考を行ったところ投票者が3名だったため、1999/5/17 創棋会席上で、石黒誠一、筒井浩実、濱田博、弘光弘、古川剛士、吉岡直紀、吉田彰の7名によって改めて投票を行い、妖精賞を決定した。

【短編部門】

詰将棋パラダイス 1998 年 8 月号
内田 昭 作 ばか自殺スタイルメイト 12 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 角

16 角 27 角 同角 38 飛 94 角 85 飛
38 角 同玉 88 飛 同飛成 49 角 同玉
まで 12 手

詰上図

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
									六
									七
									八
									九

持駒 なし

筒井浩実（妖精賞発表コメント）

初形に 88 龍が加わっただけというのが支持を受けた理由だと思う。プロブレムパラダイス 10 号の同じ作者の作品（下図）と対をなすべき作です。

内田昭作 ばか自殺スタイルメイト 12 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									一
									二
									三
									四
									五
								飛	六
									七
								桂	八
						王		王	九

持駒 なし

筒井浩実（担当）

手順を見てまず思ったのは、後世に残る傑作であるということ。初形に 88 龍が加わってのスタイルメイトという構成もさることながら、それをこの大きな手順でやってのけた作者には羨望すら感じます。（以下略）

駒井信久

38 飛をすぐには取らない所など、難しさがある。途中飛角図式や初形と詰上りとの対比もよくできていて、綺麗なパズルという印象である。

★ 初形と詰上りの見事な対比もさすことながら盤面を目いっぱい広く使った手順、38 飛を取るタイミングなど見所満載の内容を双裸玉で実現したのだから凄い。プロパラ 10 号の図も本作に負けずとも劣らない傑作です。見た事がない人は是非挑戦して見てください。

ヒントは初形と詰上りの対比が素晴らしい。詰上りも駒配置 4 枚ですよ～

詰将棋パラダイス 1998 年 4 月号
高坂 研 作 18 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
香	桂	銀	金		王	銀	桂	香	一
							飛		二
歩	歩	歩	歩	歩	歩		王	歩	三
									四
		馬							五
									六
歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	七
	馬						龍		八
香	桂	銀	金	王	金	銀	桂	香	九

持駒 なし

76 歩 42 玉 33 角生 32 玉 88 角成 44 角
26 歩 同角 75 歩 44 角 23 飛生 66 角
28 飛成 75 角 27 歩 23 玉 77 歩 22 飛
迄 18 手

筒井浩実（妖精賞発表コメント）

注釈のない最初のプルーフゲームという意義を重くみた結果であろうか。

久保貴史

名作。キーの 44 角を発見する前後の焦燥と衝撃。感動した。

小林看空

これはすばらしい。玉と 22 角の大活躍、飛角の成生、26 歩と 75 歩の突き出しの時期もうまく限定されている。傑作。

★

現在では将棋のプルーフゲームといえかなりの数発表されているが、発表コメントを読む限りでは、注釈なしのプルーフゲームではお初ということのようだ。実際に解いていないので難易度はなんとも言えないが、当時の正解者は 17 名無解者 22 名であった。

【中編部門】

詰将棋パラダイス 1998 年 10 月号

上田吉一 作 かしこ詰 21 手

*31 G がロイヤル駒

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						王			一
						王			二
						王			三
						G	歩		四
						G			五
									六
									七
									八
									九

持駒 G7

33 G 34 G 32 G 33 G 35 G 32 G
34 G 35 G 33 G 13 G 23 G 33 G
31 G 34 G 35 G 12 G 13 G 打 15 G
25 G 33 G 34 G まで 21 手

★ 正解者わずかに 1 名。あの駒井さんも解けなかった。それだけで受賞価値はありそうです。私も解けませんでした。

解説（筒井）

攻方としては、31 と 35 に G が打てれば詰み形ですが、G をどんどん打ち捨てていかないとその形を得られないのがもどかしいところです。

筒井浩実（妖精賞発表コメント）

G の細かい受けが光る作。解図した人からの評価が高かった。

守護主天

感覚をつかむのが大変。湯水のように G を使わないと捕まらないのが面白いです。

【新人賞】 長谷繁蔵氏

筒井浩実（妖精賞発表コメント）

熱心に投稿、解答している。普通かしこでは大ベテランの氏には失礼にあたるかもしれないが新人賞と致します。

★今期には新人賞が選ばれております。創作・解答の活躍ということでした。今でもばか詰創作等頑張っていちゃいますね。見習いたいものです。

x4cc はいかに改裝されたか？

神 無 太 郎

最終回： x4cc はいかに改裝されるべきか

「x4cc はいかに改裝されたか？」を書き始めてはみたもののすぐに頓挫。それから結構時間が経ってしまっていて、当時の執筆構想？はもはや全然思い出せない。x4cc の生い立ちを綴ろうとしたのだろう、程度だ。このまま葬り去ろうかと何度も思ったが、ちょっと気づいたことがあり、それを書いて完結させることにした。生い立ちではなく、これからの話。

x4cc とは、詰将棋同一作検索システムのこと。kif 形式で図面データを与えると、詰将棋データベース収録作と照合して、同一作があるかどうかをチェックしてくれるものである。

全日本詰将棋連盟のホームページ

(<http://park6.wakwak.com/~k-oohasi/zentumeren/>) で公開されている。

x4cc 開発時、本当は全部ウェブ上で処理できるのいいと思っていた。そうすれば x4cc を使うにはブラウザさえあればよく、x4cc.exe などという特殊で余計なプログラムを PC 上に設置する必要がなくなり、利用者にとっては使い勝手が高まると思っていたからだ。そうっていないのは、単に私の技術が追いついていないため。以後、簡単のために、この処理方式をウェブサイト方式ということにする。

ところが、最近、ウェブサイト方式には致命的な問題が内在することに気づいた。怪我の功名で、現状の構成は実は最善？の構成になっていたのだ。

詰将棋同一作検索システムのポイントは図面データを不可逆なハッシュ値に変換して比較する<*>ところ。ウェブ上に設置しているデータベースの中身もハッシュ値なので、詰将棋の図面の著作権の侵害のリスクを巧妙に回避しているのだ。万が一、データベースが外部に流出しても、図面データの復元は、ほとんど不可能。逆に言えば図面データをハッシュ値にしたことで、データベースの「公開」が可能になったとも言える。

この最大ポイントは、ウェブサイト方式でも損なわれない。ではいったい何が問題なのか。読者諸氏よ、疑問に思われないだろうか。はたして私は善人なのかと。少なくとも不特定多数の人にそう信じさせるだけの根拠を私はまった

く持ち合わせていない。悪意をもって詰将棋同一作検索システムを運営した場合、何を起こせるか。それは盗作である。IT 業界的に言えばフィッシング詐欺。ウェブサイト方式の場合、検索対象の図面データそのものをウェブサイトに入力することになる。一方で、ウェブサイトの運営者は、入力データを記録したり、後から参照したりできるような仕掛けを施すことができる。すなわち、誰かが未発表の新作詰将棋をウェブサイト方式で検索したとき、ウェブサイト運営者はその図面データを盗み取れるということだ。そういう仕掛けがないということ、ウェブサイト運営者が利用者に対して証明することは、おそらくできないだろう。

現実の話しをしよう。詰将棋同一作検索システムは、過去に意図的な攻撃（とっていいと思う。明らかに不当な改竄されたデータが検索システムに送りつけられてきている）を二度受けている。時期は異なるが同じアドレスから。このように同じ詰将棋という共通の趣味を持った狭い範囲の人の中でも悪意の実例はあり、そして私はその攻撃の証拠を実際に記録している。では今の詰将棋同一作検索システムは完成形なのか。必ずしもそうではない。x4cc.exe で実装しているハッシュ値生成アルゴリズムは CRC-64 というもの。図面データのハッシュ値化の他、確かに x4cc.exe で生成したハッシュ値であるということを検証するための認証用のデータ生成にも使用している。ところが CRC-64 は偶然のデータ誤りを検出するために考案された単純明快なアルゴリズムであり、実装は容易ではあるが意図的なデータ改竄は防げないという特徴がある。なので、x4cc.exe では CRC-64 を単純に実装しているのではなく、秘密の処理を追加して認証の安全性を高めている。しかし、それは気休め。x4cc.exe 自体を公開している以上、秘密の処理など容易に解明できる人類はいくらでもいる。これに対抗するためには、詳細は割愛するが、

- ・ 安全性の高い認証技術の導入
- ・ データ生成方法の完全公開

が必要なんだろうなあ、と思っている。そして、これが x4cc の進むべき道なんだろうなあ、とも思う。もっとも自分で実装する気はさらさらないのであるが。（完）

*：この基本アイデアの発案者は神無七郎さん

編集部注： x4cc はいかに改裝されたか？の第 1 回は平成 21 年 1 月号に掲載しています。

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2 月 6 日 (土)

Onsite Fairy Mate 155 回出題
* 虎入り協力詰 1 題

2 月 15 日 (月)

第18回WFPフェアリー作品展

果報は寝て待て
* 協力詰 5 作、普通詰将棋 3 作

作品募集締切一覧

第 8 回詰四会フェアリー作品展

課題：プロ野球にちなんだフェアリー作品（推理将棋も含みます）ルール&手数不問

締切：一応 2010 年 2 月 6 日 (土) までにメール (takuji@dokidoki.ne.jp) もしくは 7 日の詰四会会場に持参をお願いします。ありとあらゆるこじ付けでも OK です。

あとがき

先月号、今月号と発行日が遅れてしまい申し訳ありません。各担当者の皆様には短い作稿期間でやっていたいでいるのでその点ご了承頂きたいと思います。

去年は 1 月号で投票開始した Fairy Top IX（ネット発表作の中からお気に入り投票で決めるベスト 3）ですが、12 月号のフェアリー短編コンクールの解答発表が 2 月号の為、1 ヶ月遅らせて、以下のようなスケジュールで行いたいと思います。

2010/2/20 頃 WFP20 号
Fairy Top IX 2009 投票要項発表

2010/3/31 投票締切

2010/4/20 頃 WFP22 号
Fairy Top IX 2009 発表

去年は投票期間が 25 日間でしたが、ちょっと短いではというご意見頂きましたので、今年は、半月延ばして 40 日間にしてみました。去年はフェアリー作品部門の投票者が僅か 3 名と寂しい投票数でしたので今年はいろいろ工夫して投票者増を何とか果たしたいと思います。今考えているのは、投票者全員に現在製作中の「ばか詰 5 手傑作集式」を差し上げる、全エントリー作の図面と手順のみを載せた年鑑の創作等ですが、ご意見ご要望等がありましたら、私までメールにてお願いします。

とりあえずざっと去年の発表数を数えて見ると、

短編 (~ 15 手)	77 作
中篇 (16 ~ 49 手)	30 作
長編 (50 手 ~)	30 作
推理将棋・PG	44 作

* ギネスに挑戦等のエントリー作品も含む

短編の 77 作中、ギネスに挑戦等のエントリー作品が 31 作ありますので、それを考えると出題された短・中・長編・推理将棋 PG の年間のバランスはある程度取れているかなという感じです。

2010 年 第 19 号

Web Fairy Paradise

非売品

平成二十二年一月号

平成二十二年一月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp